

子ども 霞が関 見学デー

7/29(水)・30(木)
10:00~16:00

子どもたちに 防災について 学んでもらいました!

NPO法人
気象キャスター
ネットワークと
国土交通省が
コラボレーション
しました

「生きる力」を育むために、
危険予測・危険回避の能力が培われ、
心構えと知識が行動につながるような
防災体験授業を行いました。

日時 平成27年7月29日(水)[第1回/10:30~11:30][第2回/14:00~15:00]

参加者 第1回/子ども11名・引率者8名 第2回/子ども11名・引率者7名 (小学生未満~小学6年生までが参加しました)

場所 国土交通省 防災センター

協力 NPO法人気象キャスターネットワーク、株式会社タカラトミー

気象
キャスター
から

自然の水や 天気の変化について学びました!

雲をつくる実験や、手まわし発電機による
竜巻づくりの実験を行い、自然の水や
天気の変化について学びました。また、
気象キャスターの方と、「自然災害から
身を守るためには、空のようすや
天気ニュースを見て、自分で考えることが
大切である」と学びました。(小学校第5学年の理科で学ぶ内容です。)



雲をつくる実験



竜巻をつくる実験



災害時に働く人たちの仕事や防災について学びました!



ジオラマ(模型)やミニカーを使いながら、堤防の働きや、災害が起こった時に活躍する車両・ヘリコプターについての説明を聞き、自然災害の防止の重要性や災害の時に働く人たちの仕事について勉強しました。(小学校第4学年・第5学年の社会で学ぶ内容です。)



ジオラマやミニカーを使った勉強

子どもたちの勉強の成果

最後に、子どもたちに「この日わかったこと」について聞いてみました。小学生未満から6年生までのみなさんに、授業内容を理解してもらえました。

気温や水蒸気のはたらきで、雲ができたり、竜巻ができることがわかった。



台風などのときは、あぶないところには近づかないで、「考える・気づく・すぐに行動する」ことが大切だと思った。

自然災害を防止することが大切だと思った。

壊れた堤防をなおしたり、救急車が通れない道路をなおすことなど、災害の時に働く人たちがいることがわかった。

株式会社タカラトミーの方に、防災教育の取組みに共感いただき、TEC-FORCEとして活躍する「国土交通省 照明車」のトミカを作成していただきました。(平成27年8月15日発売)
また、災害現場のジオラマとはたらく車のトミカで、災害現場の様子や災害時に活躍する車両について、よりわかりやすく、子どもたちに伝えることができました。



国土交通省 照明車

©TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。